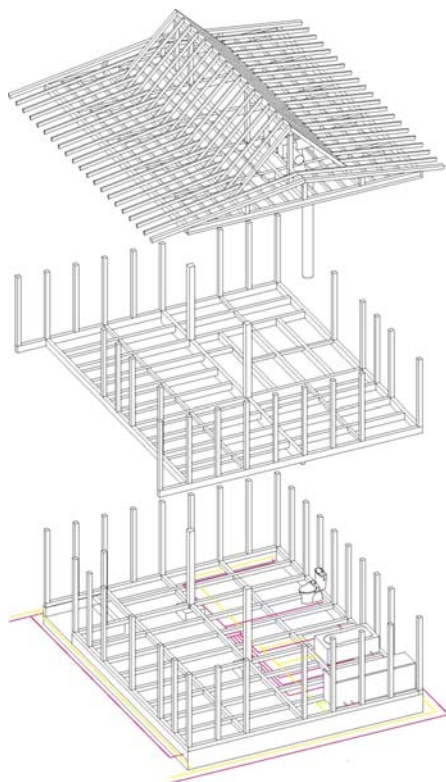


提案名	木造ドミノ住宅	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	木造ドミノ研究会	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

地域工務店だけができる「いえもり」をハード、ソフトの両面で展開します。  
 「いえもり」とは家をつくり守ること、地域の気候風土文化を活かした地域工務店の家づくりです。地域の林業や建材商店、職人や工務店、住まい手らの地域のネットワークで家を守ります。長期に渡り快適に住み続けるために、物理的寿命（耐久性）と社会的寿命（耐用性）を考えます。架構（サポート）としつらい（インフィル）を分け、更新しやすいしつらいを提案します。世代や住まい手の交代、時代変化による住宅性能の大幅な改修更新は地域工務店が行います。自然の摂理に素直でエネルギー消費量の少ないパッシブな家をつくります。架構を残したまましつらいを更新できるので、長期に渡り庭木が残り町並みが保全されます。住まい手は、住まい方教室で日常の住まいの手入れ方法を学び実践し、自ら家を守ります。有償点検制度により建物の劣化を早期に発見し必要な時期に必要なメンテナンスを行います。建物の性能で安くなった光熱費を積み立て、メンテナンスの原資にします。

■提案内容



【架構アクソメ図】



内部は2本の構造柱だけのがらんだ空間



室内空間では建具や間仕切壁を簡単に変更できる

【室内写真】

耐力壁は外周壁に受け持たせ、1～2本の大黒柱以外は内部空間が自由になる。

## 『合理的な加工システム』

木造ドミノの架構は、プレカット部材による軸組み工法ですから誰でも取り組めメンテナンスが可能です。但し耐力壁を整理し外周部のみに集めたところに高い先導性があります。外壁面に4倍壁を設置、床面に3倍水平構面を設け剛性の高い架構としています。

## 『家守りと住まい手の意識向上』

住まいが維持され永く住み続けられるには、人々が住まいを慈しみ、地域の暮らしを豊で楽しいと思えることが必要です。しかし木造住宅の文化が伝承されなかったため、その付き合い方が判からない場合があります。だから住まい方教室で、地域の山を見学に行ったり、無垢フローリングのお手入れ方法や建具の調整方法を学んだり、緑のカーテンで西日を防ぎ快適に暮らす知恵を学んだりしながら、住まいをメンテナンスしながら快適に住み続けることを会得します。日常の維持管理は住まい手が主体的に、大きな改修やリフォームは地域工務店のネットワークが行います。地域の材や工法を使うことで、地域の職人なら誰でも「いえもり」が出来ます。家をしっかりと作り、愛着を持ってお手入れして、永く快適に住み続けられるシステムです。

「木造ドミノ研究会」は、地域工務店と設計者が永く快適に住み続けられる家のノウハウを検討し蓄積して、相互に高めあいながら家守りをしていく集まりです。

点検部位	点検項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計		
屋根	屋根	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	軒先	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	壁紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	床	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	窓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
メンテナンス費用	項目	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	
定期点検費用	維持金額	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	60000
メンテナンス費用	維持金額	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	60000

有償点検制度を立ち上げ、事前に計画的な点検項目と想定メンテナンス費用を明らかにし、光熱費の削減分を原資に積み立て、必要な時に必要な費用が賄えるようにします。多くの場合、点検をしても急な想定外の出費に資金的な準備が出来なくて、手入れが先送りになり状態を悪化させてしまいます。

## ■提案者からのコメント

私たちが提唱してきた、住まい手が主体となって家を維持管理して快適に永く住み続けるシステムを更に進化させ、高性能による光熱費の削減分を積み立ててメンテナンス費用の原資にするという、家自体が家を守る方法を考案しました。居住者に採取して頂いた温熱データと『ガス』『電気』『灯油』『上下水道』の使用量と料金をJIAの環境データシートに入れて、光熱費の削減料を計りました。住まい手が家を住み繋ぎ、地域工務店がプロとして有償で定期点検を実施し、地域工務店のネットワークがそれをサポートして、地域が家を守る。地域の文化として気候風土や慣習が活かされた独自の家づくりを推進する。そしてこの家づくりが普通の価格で出来る事に価値があります。